

エコチャリ

FC本部  
紹介

## リサイクル自転車販売

### 放置自転車をリサイクル「社会性+経済性」の新商売

放置自転車のリサイクル販売とレンタルというユニークな店舗「エコチャリ」をFC展開するのがほっとステーションだ。2010年から加盟店募集を開始し、現在直営2店、加盟店6店を展開している。放置自転車の仕入先は提携するマンション管理会社や学校など。駐輪場を有する施設において放置された自転車はこれまで業者によって処分されていた。そこに目をつけ、処分されていた自転車を安く買い取り再販する事業を開始した。同社の店舗では買い取った中古品の他に新品やアウトレット品も販売できるため幅広いニーズに対応が可能。商品は本部から仕入れができるため加盟店の心配はない。社会性と事業性を兼ねあわせた自転車のリサイクルビジネスは今後さらに拡大していく可能性があるだろう。



データ

■会社名：ほっとステーション  
■所在地：東京都品川区  
■開業資金：650万円

セカンドストリート

FC本部  
紹介

## リサイクル店

### 買い取りノウハウを駆使し 総合リサイクル店として店舗拡大

リサイクル事業で業績を伸ばしているのがセカンドストリート。買い取りや運営に関するノウハウを研修でしっかりと学べるのが強みだ。

最近では新品に近い商品のラインナップを充実させることによって客層を広げている。また、高級ブランド品などは本部で鑑定士が鑑定するシステムを導入し、違法コピー品の撲滅にも力を入れている。

今後は1年で50店前後を目標に店舗を拡大させていく。



データ

■会社名：セカンドストリート  
■所在地：東京都豊島区  
■開業資金：5000万円

Don Don Down On Wednesday

加盟店  
紹介

## 古着店

### 買取価格が変化する サービスデーで集客力強化

毎週水曜日に販売価格が下がり月曜日、木曜日に買い取り価格が上がる古着屋がDon Don upが展開する「Don Don Down On Wednesday」だ。

同社は顧客にわかりやすいサービスデーを実施することで平日でも来店客が集まる仕掛け作りに成功している。リサイクル店の肝である「買い取り」においては、基本持ち込まれた洋品はどんな物であっても買い取りを行う方針。もし売れないと判断された商品があっても発展途上国などに輸出しており、服をゴミにしない運動を行っている。

現在、40店舗を展開しているが今後、日本全国で500店舗を目標にしている。

データ

■会社名：Don Don up  
■所在地：岩手県盛岡市  
■開業資金：3250万円